



高知県立幡多けんみん病院

広報誌

# はた家

はたの家族の健康をはぐくむ《はたけ》でありたい

vol.4 2019.6

創立20周年を迎えて

院長・副院長就任のご挨拶  
四国西南メディカルラリー

特集

入退院支援センター・  
医療相談室の取り組み

# 院長就任のご挨拶

日々の暮らしを、医療という側面から支え続ける。

「地域で完結できる良質な医療」を目指し

幡多地域の医療連携を充実させていきます。



院長 矢部 敏和

## なりました。

### Profile

矢部 敏和 やべ・としかず

日本循環器学会 循環器専門医  
日本内科学会 総合内科専門医  
日本内科学会 認定内科医  
日本内科学会 研修医指導医  
日本高血圧学会 高血圧専門医  
日本老年医学会 老年病専門医  
日本心臓リハビリテーション学会 四国支部 評議員  
日本医師会 認定産業医

平成31年(2019年)4月1日より高知県立幡多けんみん病院長に就任いたしました矢部敏和です。私は四万十市の出身ですので、故郷の幡多地域で医療に携われることを大変うれしく思います。これもひとえに、これまで出会った多くの患者さん、そして医療関係者の方々のおかげであり、心より感謝しております。

高知県立幡多けんみん病院は、平成11年(1999年)4月24日に診療を開始し、今年度から21年目になります。旧西南病院と旧宿毛病院の両県立病院が統合し、「幡多地域で完結できる、良質な医療の提供を目指す」を病院の基本理念として掲げ、職員全員で一丸となり取り組んで参りました。名実ともに「けんみんの病院」として親しまれ、安心して暮らす

ことのできる幡多地域のシンボルとなるように、今後とも日々努力して参りたいと思います。

病院開設以来、地域に求められる医療の提供こそが自治体病院の使命であると考え、循環器疾患や脳血管疾患、外傷等の救命・救急医療、地域がん診療連携拠点病院としてのがん医療、産科・小児科医療などを推し進めて参りました。今後これらの医療は当院の果たす重要な役割であります。

一方で、超高齢社会においては、当院に求められる医療も変化しているように感じます。以前の病院は、病気になる一時的に来る場所で、普段は縁のないところであつたように思いますが、現在の病院は、定期的に通院する身近な場所で、日常生活にかけがえのないところで、こつこつ日々の暮らしを、医療という側面から支え続けることこそが、「地域で完結できる良質な医療」であると再認識し、かかりつけ医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもと、引き続き努力して参ります。

また、良質な医療の提供には、医療安全の精神が不可欠であり、病院全体に「安全文化」の風土が根づく必要があります。職員全員が、ある時は立ち止り、振り返りながら、過去の教訓を忘れることなく、そして前を向いて「患者さんのため」「地域の方のため」に、安全な医療に取り組む所存です。

近い将来、必ず襲ってくる南海トラフ巨大地震への対応も着々と準備しております。災害時に地域の災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるように、災害訓練の実施やマニュアル整備を行うと同時に、災害時に関わる他機関との連携をより強化したいと考えています。

幡多地域の人口減少は続いています。高齢者人口の割合はゆるやかに増加しています。従って医療機関を受診する患者さんは、まだしばらくは減少せず、中でも多くの病気を抱えた方や、認知症の方が増加していきます。

一方で幡多地域の医師不足、医療関係者不足は、深刻な状況です。働き方改革の波も押し寄せる中、我々医療関係者も、時間外労働を減らすべきではありませんが、単純に労働時間を減らすだけでは、「地域で完結できる良質な医療」を提供できなくなる恐れがあります。仕事の効率化を含め、職員全員で、その対応を考えなければならぬと思います。

幡多地域全体がひとつの医療機関であるかのように、各医療機関、施設、行政が、一致団結して連携体制を充実させ、急性期から自宅までの道筋をつけることができるように頑張りたいと考えています。そのためには、地域住民の方々のご理解・ご協力が必要不可欠でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 副院長就任のご挨拶

幡多けんみん病院 創立20周年。

初心に戻り、「けんみん病院にかかってよかった」と満足していただける医療を提供していきます。



副院長 前田 明彦

## 新体制に

平素 幡多けんみん病院の診療業務にご協力ご支援をいただきありがとうございます。私は2019年4月から副院長に就任いたしました前田明彦と申します。矢部院長をサポートしてよりよい病院を目指して努力して参ります。

私は、東日本大震災の直後2011年4月に小児科医として赴任しました。安芸市の出身ですので、地元の方として高知県の地域医療に貢献したいという思いで、現在に至っています。20歳代で3年間の東京暮らしを経験しましたが、都会で働く多くの人々には、「過酷な環境のなかご苦労様です」、と頭が下がる思いです。むしろ、都会の便利さよりも、高知県のような自然に恵まれた土地で暮らせることを贅沢と感じるのは、年をとったせいだけではないと思います。自然にめぐまれた環境は得難い宝物

### Profile

前田 明彦 まえだ・あきひこ

日本小児科学会認定専門医  
日本小児感染症学会  
日本感染症学会  
小児科専門医  
ICD

ですが、子育てをしたり、若い人たちが暮らすためには、「教育」と「医療」もたいせつです。後者を私も分担しているのですから、責任は重大です。お年寄りはもちろんのこと、若い人たちにとっても、必要なときに優良な医療を受けられることは、「安心」の源となります。

幡多けんみん病院は、創立後、満20歳を過ぎました。皆様に提供する医療にも成熟が求められる時期です。初心にもどって、当院の基本方針(私たちのめざす医療)について、確認しておきたいと思えます。

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

また、充分に実現できていない部分も多いと思えます。日々の努力、相互啓発、また皆さまの声に積極的に耳を傾けることで、「けんみん病院にかかってよかった」と満足につながる医療を提供していきたいと思えます。皆さまのお声が私たち職員への最高のご褒美となり、明日への活力になることは間違いございません。

幡多けんみん病院は、診療だけでなく、皆さまに健康や医療についてより深く知っていただく活動も行っています。幡多ふれあい医療講座は年に数回、様々なテーマで専門の医師に講話をお願いしています。また、先の副院長の上岡医師が始めた「がんの学び舎」も続いています。ご自身の健康を守るためには、「知らなかったから損した」ということが実際にあります。予定されている講話についてポスターを掲示していますので、ぜひご参加ください。

今後とも、当院を地域の病院として育てていただけますように、よろしく申し上げます。

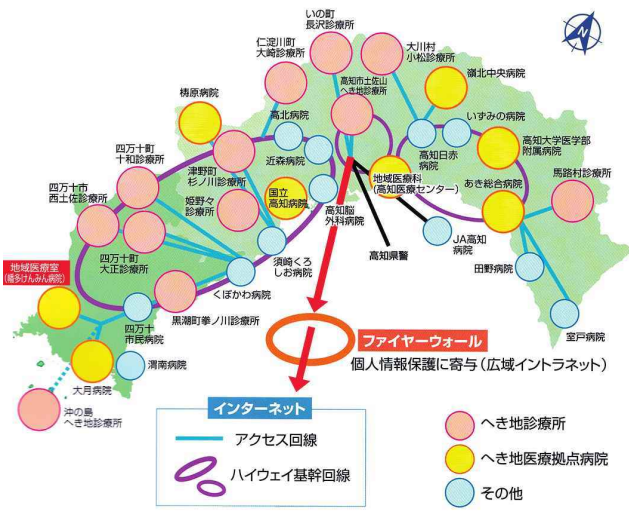




# へき地医療拠点病院

へき地医療拠点病院とは、無医地区(医療機関のない地域で、中心地から半径4kmの区域内に50人以上が居住し、容易に医療機関を利用できない地区)及び無医地区に準ずる地区を対象として、診療支援などを行う病院です。当院はへき地医療拠点病院に指定され、離島への巡回診療を行っています。

また高知県情報ハイウェイを活用したへき地医療情報ネットワークに加入し、ICTを用いた画像伝送システムやテレビ会議システム、救急動画伝送システムなどを活用し、医療に役立てています。



# 地域がん診療連携拠点病院

地域がん診療拠点病院とは、厚生労働省主導により、がん治療の地域格差をなくし、地域住民が質の高いがん治療を受けられることを目的として指定されたがんの拠点病院です。

当院は平成24年4月1日、高知県中央圏以外では初めて地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、専門的ながん医療の提供、緩和ケアの充実、がん患者・家族等に対する相談支援、在宅医療の支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の取り組みを行い、地域におけるがん医療の充実に努めています。

当院のがん診療への取り組みについては、専門的知識や技能を有する各診療科医師の協力の下、手術・放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的治療及び緩和ケアを提供するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療を行っています。

そして、高度化・多様化するがん診療に対応するために、手術・検査機器や放射線治療装置の速やかな更新を行うとともに、緩和ケア支援室、外来化学治療室、がん疾患の多い病棟やWOC相談室に専門的知識を有する認定看護師を配置、相談支援センターや院内がん登録に対しても専門の人員を配置、さらに、薬剤科、リハビリ科、栄養科、退院調整部門など多職種との連携を密にとりながら、がん診療を行っています。

# 基幹型臨床研修指定病院

当院は基幹型臨床研修指定病院として指定されています。研修プログラムは、必修科目、選択必修科目、選択科の研修をほぼ自院で行うことができるため、研修医の希望に合わせた柔軟な研修が行えます。より先進的な医療の経験を望む場合には、高知大学医学部付属病院での研修も可能です。選択科としては、県内全ての基幹型臨床研修病院で研修することが可能です。

# 地域のイベント

## ■幡多ふれあい医療公開講座

平成23年4月より、幡多地域各市町村、幡多福祉保健所、幡多医師会の協力を得て、幡多けんみん病院が主体となり、幡多地域の住民を対象とした医療公開講座を定期的に開催しています。

生活習慣病、救急疾患、がんについての話はもちろんのこと、幡多地域の医療・介護の現状なども随時取り上げられます。

### 演題(例)

- ・あなたの骨は大丈夫?
- ・認知症の最近の治療について
- ・がんとは? がんの疫学、予防
- ・不整脈と脳卒中
- ・糖尿病の食事療法 他

## ■クリスマスコンサート

当院では、入院患者さん、地域の皆さんにほっと一息ついてもらえる安らぎの場を提供し、日頃の悩みを忘れて愉しいひとときを過ごしてもらえよう毎年クリスマスコンサートを実施しています。

企画・運営・演奏は、中村交響楽団・病院職員・幡多高等看護学院学生等の協力の元、行われています。



## ■その他

- ・糖尿病教室
- ・母親学級

## 特集

# 入退院支援センター・ 医療相談室の取り組み



## 入退院支援センター

入退院支援センターは、平成28年4月より「入院前から始める退院支援」をコンセプトに、入院前から退院まで、退院から地域へと切れ目のない支援を行うための組織として開設されました。看護師や社会福祉士、薬剤師、栄養士、事務職員などの多職種で連携して支援を行うことで、患者さんに安全で間違いのない医療を受けていただくこと、また、患者さんとご家族が安心できる療養生活につなげることを目指しています。

スタッフは、センター長(兼務)の医師1名と看護師6名、事務職員が1名で構成し、入院と退院の2つの業務に分かれて支援を行っています。



## 《入院支援業務》

検査や手術のために入院が決まった患者さんに対し、入院前から看護師や薬剤師などが面談し、入院時の事務手続きのご案内や入院経過中に行われる治療や過ごし方について説明を行います。

また、病歴や入院前の生活での様子の聞き取りや内服薬・中止薬の確認を行います。現在7診療科(外科・整形外科・脳外科・循環器科・消化器科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)に介入しています。



## 《退院支援業務》

当院では、退院支援が必要となる患者さんに対して、入院早期から医師や病棟看護師、社会福祉士、薬剤師、栄養士、リハビリ療法士などの多職種によるカンファレンスを行い、退院後の生活を見据えた支援を行っています。

入退院支援センターの看護師は、病棟ごとに担当を決めて療養相談の窓口となり、患者さんの状況や療養の意向を踏まえ、退院後環境の整備、退院前後の自宅訪問指導、介護保険利用に関する相談、転院療養先の情報提供や施設の紹介など、ご家族や地域と連携し、安心して次の療養場所に移行していただけるよう支援を行っています。

また、地域のスタッフのみなさんとの「顔の見える関係」を大切にし、入院時からケアマネジャーや訪問看護師と連絡を取り合い、活発な連携が行えるようになってきています。



## 【医療相談室・がん相談支援センター】

医療相談室では患者様やご家族様からの相談を受け付けています。治療や療養に伴う様々な心配や不安について、専門の相談員(医療ソーシャルワーカー)がお話を伺い、問題の解決、調整などを行います。スタッフは3名で、社会福祉士の資格をもっています。

相談内容は、医療費に関する説明や経済的な相談への対応、介護、障害、難病などの福祉制度のご紹介、退院先の検討や自宅療養に必要なサービスの調整など幅広く受け付けております。退院支援については入退院支援センターと連携、役割分担しながら対応しています。

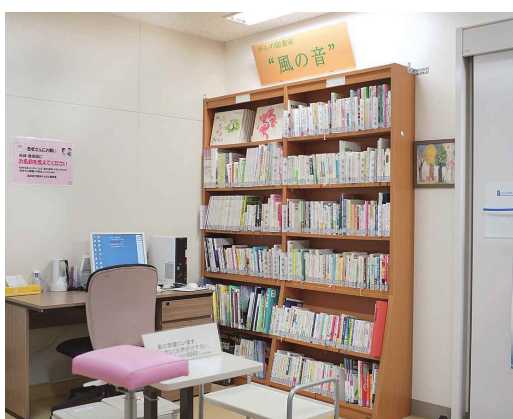
また、がん相談支援センターとしても相談を受け付けています。がんに関することであれば、どなたでも相談できます。「がん」と診断されてどうしたらいいのか分からない「家族ががんと言われた」がんの治療、検査について聞きたい「セカンドオピニオンについて知りたい」在宅で療養するときにどんな制度が使えるのか「がんの治療費について聞きたい」など、がんに関する様々な不安や心配があれば、どうぞご相談下さい。

お受けした相談は必要に応じて、医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、事務など他職種と連携をとりながら、よりよい支援が行えるよう検討していきます。また、地域の医療機関や市役所、地域

包括支援センター、介護事業所などの関係機関とも連携をとりスムーズに制度の手続きやサービスの利用が行えるようお手伝いします。

相談は無料で予約もいりません。電話での相談もお受けしています。皆様からの相談には守秘義務を守って対応いたしますのでご安心ください。

医療相談室は2階Eブロックにあり、病院玄関から遠いため少しわかりづらいのですが、外来受付や病棟などで相談員を呼び出していただければお伺いします。お気軽にご相談ください。



がんの図書室「風の音」  
がん関連の新しい書籍が1000冊程揃えられている

がん相談窓口のご案内

がんのことで悩んでいませんか？  
相談できる場所があります  
ひとりで悩まずに、まずはご相談下さい

がんに関する心配、お困りの事があれば  
『がん相談支援センター』へ

高知県立幡多けんみん病院  
がん相談支援センター

相談時間：8時30分～17時15分  
(平日・月～金曜日)  
電話：0880-66-2222 (代表)  
電話での受け付けもしています。  
相談は無料です

B外案	E外案	A外案
C外案	G外案	E外案
D外案	H外案	H外案



# 四国西南メディカルラリー

## ■四国西南メディカルラリー

四国西南メディカルラリー(愛称「K・MOST・Sラリー」)この言葉を初めて聞く方も、多いかと思いますが、まず、この言葉の由来についてお伝えしたいと思います。

「K・MOST・Sラリー」という愛称は、幡多6市町村(黒潮町・三原村・大月町・宿毛市土佐清水・四万十市)のイニシャルと県境を越えた西南地域を表し、当地域が1つになることを願って名付けました。発足は平成28年で、まだまだ出来たてです。

## ■メディカルラリー?

メディカルラリーとは、実際に起こりうる医療現場を想定した場面をいくつか用意し、医師、看護師、救急救命士などで編成した医療チームが各場面で制限時間内に実際に即した活動を行い、チーム間で総合評価を競う真剣な演習です。

チームとして参加するチャレンジャーはもろん、様々な想定場面で役者として演じるスタッフや場面造りの裏方も、所属や職種を越えた相互理解と団結の元、知識・技術の向上に役立つ実践勉強会として全国各地で開催されるようになりました。

しかし中には特定の機関の主催であったり、参加費が高額のために参加者が限られてしまうラリーも多く、医療現場に関わる幅広い対象者への周知や参加はまだまだ充分とはいえません。

私たちの企画するK・MOST・Sラリーは、参加者が個人学習に留まらず地域全体に還元できることを目指し、全ての参加者の所属機関様と主旨に御賛同下さる地域の機関施設様に全面的

バックアップをお願いしております。

日頃は救急医療に関わらない方々も、南海トラフ地震等の大災害においては所属機関を越え活動しなければならず、当ラリーがそうした仮想体験の機会となり、顔の見える関係を築ききっかけになればと願っております。



## ■今年の「K・MOST・Sラリー」

### テーマ:

走ろう!〜新たな時代に向かって〜  
築こう!ワンダフルコラボレーション

## チャレンジチーム6チーム

総勢:203名の協力のもと盛大に開催することができました。



各ブースのシナリオは、ブース長が中心となりシナリオは考えます。

K・MOST・Sラリーの公平性を規すため、当日まで亜シナリオは、秘密にされます。チームを引率するチューターの方も知りません。

シナリオにはその年の日本の出来事が反映されることもあります。また、チームの「採点」は、細かく評価項目が設定されており、チャレンジャー一人一人に対して評価を行いながら、最終的にチームとしての総合得点で競い合います。ちなみに、今年のシナリオは次のようになって





いました。

①とある会議室で、A社長・A社長秘書・B社長・B社長秘書が密談中に次々と意識消失していき



②「〇時〇分に豊後水道を震源とした、震度7の地震が発生。現在、西日本の各地で甚大な被害がでており、ここ幡多地区でも、多数の被害があります。今から行っていただく地域は、地盤が弱く多数の倒壊家屋が出ている地域です。現場に地元の消防士が先着しており、状況を聞いたうえで活動に入ってください。」



③12月7日、16時、気温10度、転帰は雨。トンネル内で、スリップによる車3台の衝突事故が発生。たまたま、通りがかったラリーチームが救助に当たる。



このような、想定付与の後、実際に医療支援を行っていきます。

### 懇親会

懇親会では、数時間前のK・MOST・Sラリーダイジェスト版を放映しました。(編集の方、本当にご苦勞様でした。)

上位3チームにはトロフィーと記念品、MVP、学生最優秀演技賞など数々の賞を設けて盛大に行われました。



楽しそうでしょ!? 来年は、ぜひ一緒にメディアカ  
ルラリーを盛り上げながら、顔の見える関係を築  
き四国西南地域の医療・看護の質の向上につなげ  
ましょ。

(集中ケア認定看護師 藤本 王子)

# 満点レシピ

delicious & healthy

栄養科  
管理栄養士  
井上 那奈



- 高知県が生産量日本一である生姜は、いろいろな健康効果が期待できる食品として注目されています。生姜はすりおろすと風味を生かすことができ、切り方によって食感が変わるのもいろいろな楽しみ方ができますね。初夏には新生姜が出回ります。
- 買うときにはしわがなく、ふっくらしたみずみずしいものを選ぶとよいです。



## Seasoned rice with ginger

【2人分】

しょうが 10g  
きざみ揚げ 16g  
(油揚げ1枚)  
にんじん 16g  
しめじ 10g  
しいたけ 10g  
塩こうじ 12g  
だし汁 200ml

## 「しょうがの炊き込みごはん」

- ①お米は研いで水切りしておく。  
きざみ揚げは熱湯を回しかけて油抜きする。
- ②生姜、にんじんは細切りに、きざみ揚げとしめじとしいたけは荒目に刻む。
- ③炊飯器に①②と塩こうじ、だし汁を入れ、軽く全体を混ぜる。
- ④炊き上がりは具を全体に混ぜ込み、器に盛りつける。



※お好みでネギや青シソを乗せると彩りになります。  
しょうがは繊維に沿って切ると、炊いたあともシャキシャキとした歯ごたえが楽しめます。

池PTの



## HATA再発見

### 『文学にふれる』

今年行われた大学入試センター試験の国語の試験問題に、上林暁の作品が出題されていた。

上林暁は黒潮町出身の私小説作家であり、その足跡は大方あかつき館の上林暁文学館にある。

“彼の作品は生活上の不遇を背景としつつも、それに負けない向日性をストイックで端正な文体が支える。また、話し言葉がリードし独特のリズムをもつ尾崎一雄の文章を“音楽的”と評するならば、一種幻想的とも言える色彩感覚をもつ上林の文章は“絵画的”と評することができる。”(Wikipedia)

試験問題を読みながら、いくつかの作品を読んでみたいと思った。いよいよ令和が始まりました。新たなスタートの一つとして、皆さんも文学にふれてみてはいかがでしょうか。



リハビリテーション室  
理学療法士 池 雅道

## 上林 暁



参照: 大方あかつき館 上林暁文学館  
<http://www.library.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/bungakuan>



大方あかつき館



開院当時の写真

現在の写真(災害棟、災害倉庫が増築)

## 編集後記

幡多けんみん病院は平成11年4月に開院しました。今年でちょうど20年になります。人間でいえば成人式です。この病院で、20年の間に多くの赤ちゃんが誕生し、多くの方が病気やけがの治療をされ、そして多くの方がお亡くなりになったことだと思います。地元の皆様に支えられて、「けんみん」という愛称で呼ばれ、地域の中核病院として必要とされるようになりました。



年号が「令和」に変わる今年からは、病院のスタッフも新しくなり、今後の20年にむけて、さらに良い病院となるよう努力していきます。

はた家Vol.4では、新スタッフと入退院支援部門を特集しました。令和20年に向けて、新しい『けんみん病院』をこれからもよろしく願います。

整形外科 北岡 謙一

# 外来診療医師案内

初診午前中受付 8:30～(受付箱7:30設置)

受付 ☎ (0880) 66-2222

2019.6.1

はた家

Vol.4

診療科		月	火	水	木	金	土	
A 外来	外科	午前	1診 秋 森	川 西	桑 原	秋 森	桑 原	
			2診		上 岡	沖		
			4診	石 田	石 田	尾 崎	石 田	岡田(第1以外) 呼吸器外科
	整形外科 (受付 11:00迄)	午前	8診 田 所	手術日	手術日	田 所	手術日	
			9診 橋 元			柳 川		
			10診 前 原			中 谷		
	脳神経外科	午前	西 村	野 島	西 村	野 島	細 田	
皮膚科 (受付 11:00迄)	午前	石 元 (予約・紹介のみ)	石 元		石 元 (予約・紹介のみ)	池 田		
	午後	手 術	手 術	石元(pm2:00~)				
禁煙外来	午後	《完全予約制》		矢 部 (月2回)要問合せ				
B 外来	内科 (受付 11:00迄)	午前	予約外 猪野/児玉(川村)	山中/佐田	野島/岡	宗円/猪野	刑 部	
			予約 野 島	刑部/猪野	川村/宗円	野島/刑部	川村/山中	
		午後	予約 野 島	刑部/猪野	川村/宗円	野島/刑部	山 中	
	循環器内科	午前	1診 谷 岡	矢 部	大 澤	山 中	谷 岡	
			2診 大 澤	中嶋(高知大医師)	山 本		竹 内	
	消化器内科 (受付 11:00迄)	午前	予約外 小笠原	安倍/高崎(隔週)	北 川		石 川	
			予約のみ 上 田	石 川	上 田	小笠原 澤田(晴)/沖	森 澤	
		午後	予約のみ 上 田	上 田	上 田			
	放射線科	午前	随時			坪 井		
	泌尿器科 (受付 10:30迄)	午前	1診 刑 部	澤 田	澤 田	刑 部	刑 部	
		2診 芝			芝	芝		
	午後	予約のみ 手 術	澤 田	澤 田	手 術			
C 外来	産婦人科	午前	産科 濱 田	中 野	泉 谷	濱 田	中 野	
			婦人科 中 野	泉 谷	濱 田 (予約のみ)	中 野	濱 田 (予約のみ)	
		午後	濱 田			泉 谷		
眼 科	午前	《完全予約制》		高知大医師		高知大医師	高知大医師	
D 外来	小児科	午前	1診 白 石	白 石	島 田	白 石	白石/前田(隔週)	
			2診 前 田	前 田	丸 金	前 田	島 田	
			3診 島 田	澤 井	萩 野	桑 名		
		午後	1診(予約) 前 田	白石(循環器)	前 田	丸 金	午前/午後 石原(腎)(月1回) 大島(小外)(月1回)	} 要問合せ
			2診(予約) 桑 名	丸 金	萩 野	前 田		
		3診(予約)				澤 井		
			山本(循)(第3) 要問合せ					
耳鼻咽喉科 (受付 11:00迄)	午前	池 永	手 術	池 永	手 術	池 永		
	午後	予約のみ	手 術	予約のみ	手 術	予約のみ		
麻酔科 緩和ケア	午前			橘				

発行元

高知県立幡多けんみん病院  
〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈3番地1  
TEL: (0880) 66-2222(代表) FAX: (0880) 66-2111

発行月  
制作

令和元年6月  
CC委員会

※担当医師は、手術や出張により変更になる場合があります。 ※初診及び予約以外の方の受付時間は午前11時30分までとなっています。  
 ※整形外科・内科・消化器内科・耳鼻咽喉科の受付は午前11時までとなっています。  
 ※皮膚科の受付は火曜日・金曜日は午前11時まで、水曜日は午後2時から4時までとなっています。 ※泌尿器科の受付は午前10時30分までとなっています。  
 ※眼科・禁煙外来は完全予約制です。予約は予約変更係(0880-66-2222)へお電話ください。